

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ショーワ

コード番号 7274 URL <http://www.showa1.com>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 北條 陽一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 真野 洋介

TEL 048-554-1151

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	61,766	27.2	3,865	525.1	4,116	293.6	3,341	—
24年3月期第1四半期	48,540	△19.3	618	△73.0	1,045	△59.8	△579	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 6,942百万円 (311.1%) 24年3月期第1四半期 1,688百万円 (11.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第1四半期	43.99	—
24年3月期第1四半期	△7.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第1四半期	160,246	86,414	86,414	86,414	44.7	943.67
24年3月期	155,540	81,010	81,010	81,010	43.2	884.61

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 71,687百万円 24年3月期 67,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	122,000	20.6	6,500	192.3	7,000	185.1	4,500	—	59.24
通期	243,000	12.6	12,500	66.5	13,500	84.2	7,000	174.6	92.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成24年7月31日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	76,020,019 株	24年3月期	76,020,019 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	52,659 株	24年3月期	52,634 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	75,967,370 株	24年3月期1Q	75,967,433 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、[添付資料]P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から6月30日までの3ヶ月間）の売上高は、二輪車用製品の販売は、前第1四半期連結会計期間末にベトナム子会社を連結化したことにより増加し、四輪車用製品の販売は主に日本において震災からの復興やエコカー補助金の復活による需要の急増および北米における自動車市場の着実な回復に牽引され増加し、617億6千6百万円と前年同四半期に比べ27.2%の増収となりました。また、利益につきましては、売上変動・構成変化、生産体質の強化に伴う改善効果などにより、営業利益は38億6千5百万円と前年同四半期に比べ525.1%の増益、経常利益は、41億1千6百万円と前年同四半期に比べ293.6%の増益、四半期純利益は、法人税等還付税額の計上等により、33億4千1百万円（前年同四半期は四半期純損失5億7千9百万円）となりました。

当社グループでは、平成24年4月より、従来の開発・生産・購買などの機能軸と製品・事業軸による「マトリックス経営体制」をさらに進化させるため、「二輪・汎用事業本部」、「四輪事業本部」、「ステアリング事業本部」および「ガススプリング事業本部」の4つの事業本部を新たに組織いたしました。各事業本部に、事業運営に必要な権限と責任を付与して、事業ごとにグローバルな展開を迅速に行うこと、および機能本部の専門性を最大限活用することにより、今後ますます激化が予想されるグローバル市場における競争力を高めております。

事業セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、当社グループは、当第1四半期連結会計期間において報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。また、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

#### (二輪・汎用事業)

二輪・汎用事業の売上高は、207億円（前年同四半期比7.2%増）となり、営業利益は、21億6百万円（前年同四半期比15.0%減）となりました。

#### (四輪事業)

四輪事業の売上高は、243億3千5百万円（前年同四半期比39.4%増）となり、営業利益は、9億4百万円（前年同四半期は営業損失10億4百万円）となりました。

#### (ステアリング事業)

ステアリング事業の売上高は、223億8千8百万円（前年同四半期比21.0%増）となり、営業利益は、1億8千9百万円（前年同四半期は営業損失9億1百万円）となりました。

#### (ガススプリング事業)

ガススプリング事業の売上高は、14億8千8百万円（前年同四半期比28.2%増）となり、営業利益は、4千1百万円（前年同四半期は営業損失4千2百万円）となりました。

#### その他

その他の売上高は、32億5百万円（前年同四半期比27.2%増）となり、営業利益は、1億6千4百万円（前年同四半期比16.6%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,602億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億5百万円増加しました。各項目別の主な要因は次のとおりです。

#### (流動資産)

流動資産は888億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億4千9百万円増加しました。

これは主に受取手形及び売掛金、有価証券の増加によるものです。

#### (固定資産)

固定資産は714億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億5千6百万円増加しました。

これは主に有形固定資産の増加によるものです。

#### (流動負債)

流動負債は534億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千7百万円増加しました。

これは主に未払金及び未払費用の増加によるものです。

#### (固定負債)

固定負債は204億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億7千6百万円減少しました。

これは主に長期借入金の減少によるものです。

(純資産)

純資産は864億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億4百万円増加しました。

これは主に利益剰余金、為替換算調整勘定、少数株主持分の増加によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日までの6ヶ月間）および通期（平成24年4月1日から平成25年3月31日までの1年間）の連結業績予想は、二輪車用製品の販売は、アジア、南米で減少するものの、四輪車用製品の販売が主に日本、北米において増加することに伴い、売上および営業利益の増加が見込まれ、また、当第1四半期連結累計期間において法人税等還付税額の計上等により四半期純利益が増加し、前回公表値を上回るため修正しております。

## &lt;第2四半期連結累計期間&gt;

売 上 高	1,220億円	前年同四半期比 20.6%増
営 業 利 益	65億円	前年同四半期比192.3%増
経 常 利 益	70億円	前年同四半期比185.1%増
四 半 期 純 利 益	45億円	前年同四半期は四半期純損失8億4千7百万円

## &lt;通期&gt;

売 上 高	2,430億円	前連結会計年度比 12.6%増
営 業 利 益	125億円	前連結会計年度比 66.5%増
経 常 利 益	135億円	前連結会計年度比 84.2%増
当 期 純 利 益	70億円	前連結会計年度比174.6%増

為替レートは、通期平均で、1米ドル＝80円を前提にしております。

また、本日別途開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」につきましてもご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、有形固定資産（平成19年4月1日以降に取得した建物を除く）の減価償却方法を定率法によっていましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しています。

従来、当社及び国内連結子会社の製品は総じて新型車の立ち上がり時に受注が多く年数の経過とともに受注減少となる傾向がありましたが、近年は、受注は特定車種の売れ行きに左右された過去に比べ安定的となる傾向が強まりつつあり、かつ、主要得意先においてグローバル車種の拡充や製品・部品の共有化が進んでいます。こうした経営環境のもとで、事業方針として、海外を含む生産拠点間で柔軟に機種移管ができるよう生産ラインの汎用化を進めてまいりました。さらに当期首より事業本部制を導入し、各生産拠点で長期安定的生産を推進していくこととしました。これを契機として有形固定資産の使用状況を見直した結果、今後の設備の安定的な稼働並びに投資効果の収益に対する長期安定的な貢献が見込まれるようになりました。

これにより耐用年数にわたり均等償却による原価配分を行うことが有形固定資産の使用の実態をより適切に反映できるため、減価償却方法を定額法に変更することが合理的であると判断しました。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、売上総利益が104百万円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が138百万円それぞれ増加しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,289	17,931
受取手形及び売掛金	32,382	34,567
有価証券	3,800	4,500
商品及び製品	5,697	5,273
仕掛品	3,202	3,709
原材料及び貯蔵品	15,725	15,504
その他	6,633	7,419
貸倒引当金	△172	△97
流動資産合計	84,559	88,808
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,392	16,597
機械装置及び運搬具（純額）	26,807	27,598
その他（純額）	14,211	13,871
有形固定資産合計	57,411	58,066
無形固定資産		
のれん	1,660	1,693
その他	102	102
無形固定資産合計	1,763	1,796
投資その他の資産		
投資有価証券	8,142	7,581
その他	3,680	4,009
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	11,805	11,574
固定資産合計	70,981	71,437
資産合計	155,540	160,246

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,952	26,715
短期借入金	11,105	10,539
未払金及び未払費用	6,562	8,589
未払法人税等	1,265	1,421
製品保証引当金	1,538	1,566
賞与引当金	2,665	1,252
その他	3,045	3,328
流動負債合計	53,136	53,414
固定負債		
長期借入金	10,812	9,932
製品保証引当金	1,124	1,134
退職給付引当金	5,985	6,192
その他	3,471	3,157
固定負債合計	21,393	20,416
負債合計	74,529	73,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,698	12,698
資本剰余金	13,455	13,455
利益剰余金	52,440	55,079
自己株式	△53	△53
株主資本合計	78,542	81,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,174	2,658
為替換算調整勘定	△14,515	△12,151
その他の包括利益累計額合計	△11,340	△9,492
少数株主持分	13,808	14,726
純資産合計	81,010	86,414
負債純資産合計	155,540	160,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	48,540	61,766
売上原価	42,917	52,200
売上総利益	5,623	9,566
販売費及び一般管理費	5,005	5,700
営業利益	618	3,865
営業外収益		
受取利息	178	161
受取配当金	43	32
持分法による投資利益	127	143
為替差益	91	43
補助金収入	157	7
その他	46	37
営業外収益合計	644	424
営業外費用		
支払利息	183	152
その他	33	20
営業外費用合計	217	173
経常利益	1,045	4,116
特別利益		
固定資産売却益	3	35
段階取得に係る差益	61	—
特別利益合計	65	35
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産廃棄損	21	33
減損損失	21	10
為替換算調整勘定取崩損	—	253
特別損失合計	42	299
税金等調整前四半期純利益	1,068	3,852
法人税等	802	750
法人税等還付税額	—	△1,051
少数株主損益調整前四半期純利益	266	4,153
少数株主利益	845	812
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△579	3,341



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	266	4,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	△516
為替換算調整勘定	1,405	3,091
持分法適用会社に対する持分相当額	78	213
その他の包括利益合計	1,422	2,788
四半期包括利益	1,688	6,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	301	5,189
少数株主に係る四半期包括利益	1,386	1,753

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)4
	二輪・ 汎用事業	四輪事業	ステアリン グ事業	ガススプリ ング事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	16,619	14,726	14,366	497	46,209	2,331	48,540	—	48,540
セグメント間 の内部売上高 又は振替高 (注)1	2,697	2,735	4,140	663	10,236	189	10,425	△10,425	—
計	19,316	17,461	18,506	1,160	56,446	2,520	58,966	△10,425	48,540
セグメント利益 又は損失(△)	2,476	△1,004	△901	△42	528	197	725	△107	618

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)2	合計	調整額 (注)3	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)4
	二輪・ 汎用事業	四輪事業	ステアリン グ事業	ガススプリ ング事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	18,156	20,567	19,167	791	58,683	3,082	61,766	—	61,766
セグメント間 の内部売上高 又は振替高 (注)1	2,543	3,767	3,220	696	10,228	122	10,351	△10,351	—
計	20,700	24,335	22,388	1,488	68,912	3,205	72,117	△10,351	61,766
セグメント利益 又は損失(△)	2,106	904	189	41	3,241	164	3,405	459	3,865

(注) 1. 報告セグメント内の内部取引を含んでいます。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等を含んでいます。

3. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、内部取引消去及び未実現利益消去等です。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「日本」、「北米」、「南米」、「アジア」及び「中国」の5つを報告セグメントとしていましたが、「1. 当四半期決算に関する定性的情報」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「二輪・汎用事業」、「四輪事業」、「ステアリング事業」及び「ガススプリング事業」の4つを報告セグメントとすることとしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものです。

各セグメントの主要製品は以下のとおりです。

セグメントの名称	主要製品
二輪・汎用事業	二輪車用ショックアブソーバ、船外機用パワーチルトトリム、シリンダ、ポンプアンドモータ
四輪事業	四輪車用ショックアブソーバ、プロペラシャフト、オートマチックトランスミッション部品、デファレンシャルギヤ、その他駆動系部品
ステアリング事業	電動パワーステアリング、油圧パワーステアリング、CVTポンプ
ガススプリング事業	ガススプリング

## (会計方針の変更)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より有形固定資産(平成19年4月1日以降に取得した建物を除く)の減価償却方法を定率法から定額法へ変更しています。この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益は「二輪・汎用事業」で10百万円、「四輪事業」で47百万円、「ステアリング事業」で65百万円、「ガススプリング事業」で0百万円、「その他」で14百万円それぞれ増加しています。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。



平成 24 年 7 月 31 日

平成 25 年 3 月 期 第 1 四 半 期 連 結 累 計 期 間

参考資料

(単位:百万円未満切捨て)

		平成24年3月期	平成25年3月期	差異	平成24年3月期	平成25年3月期	差異	
		第1四半期 実績	第1四半期 実績		通期 実績	通期 予想		
売上高		48,540	61,766	13,225	215,889	243,000	27,110	
事業別	二輪・汎用事業	ショックアブソーバ	18,656	20,100	1,444	80,706	76,910	△ 3,796
		ボート用製品	660	599	△ 60	2,652	2,550	△ 102
		計	19,316	20,700	1,383	83,358	79,460	△ 3,898
	四輪事業	ショックアブソーバ	12,405	16,608	4,203	53,167	67,350	14,182
		駆動系	5,056	7,726	2,669	26,417	30,080	3,662
		計	17,461	24,335	6,873	79,585	97,430	17,844
	ステアリング事業	18,506	22,388	3,881	77,085	92,730	15,644	
	ガススプリング事業	1,160	1,488	327	5,276	5,650	373	
	その他・調整額	△ 7,905	△ 7,146	759	△ 29,417	△ 32,270	△ 2,852	
	営業利益		618	3,865	3,246	7,507	12,500	4,992
事業別	二輪・汎用事業	2,476	2,106	△ 370				
	四輪事業	△ 1,004	904	1,908				
	ステアリング事業	△ 901	189	1,091				
	ガススプリング事業	△ 42	41	84				
	その他・調整額	90	623	533				
経常利益		1,045	4,116	3,070	7,330	13,500	6,169	
純利益・純損失(△)		△ 579	3,341	3,920	2,549	7,000	4,450	
1株当たり純利益・純損失(△)		△7円62銭	43円99銭	51円61銭	33円57銭	92円14銭	58円57銭	
営業利益増減要因			3,246		△ 1,388	4,992	6,380	
売上変動構成変化			3,486		△ 1,694	3,960	5,654	
労務費			△ 411		△ 1,566	△ 1,350	216	
原材料価格影響			4		△ 629	△ 110	519	
研究開発費			△ 192		△ 418	△ 760	△ 341	
原価低減効果等			501		2,706	2,650	△ 56	
減価償却費			231		267	1,040	772	
為替影響			△ 374		△ 53	△ 438	△ 384	
研究開発費		1,389	1,579	189	5,880	6,646	765	
設備投資		994	777	△ 217	5,134	9,070	3,935	
減価償却費		2,206	2,103	△ 102	9,777	8,380	△ 1,397	
総資産		158,246	160,246	1,999	155,540			
純資産		84,705	86,414	1,709	81,010			

※営業利益増減要因の各増減金額は、前年同期為替レートで換算しており、当期為替レートとの換算差は、「為替影響他」に含めています。